



録画を配信

学校の在り方の検討を

町長 焦らず地域や保護者のご意見を聞く

少子化に伴う将来の学校の在り方を問う

検討をどう進める

問 少子化が進む中で、学校の在り方の検討をどう進めるか。

〔教育長〕 地域や保護者のご意見を踏まえ、信頼関係を大切に、合意を図りながら進めたい。

協議の場を早く

問 時間が相当必要であることを考えれば、早急に議論を始めるべきだ。

〔町長〕 賛成と反対で地域が分かれるようなことはあってはならない。子どもたちのことを最優先に考え、地域の方



笹原俊一議員

や保護者の方のご意見をじっくりとお聞きし、焦らずに進めたい。

年度	出生数
2017	59人
2018	62
2019	55
2020	60
2021	36

白鷹町出生数の推移

私もひとこと

出生数の減少は明らかです。町、議会、町民も機会を作り学ばなければならぬと思います。（町内70代）

空き家バンクの活用

登録数と成約数

問 空き家バンクの累計登録数と実績は。

〔町長〕 令和4年10月現在、累計登録数90件、契約成立数は売買が52件、賃貸が24件、合計76件となっている。

室内片付けに支援を

問 近々の調査で居住可能な住宅は281件。登録数底上げのため、負担の大きい室内の片付けに、支援が必要ではないか。

〔建設課長〕 町には空き家の利活用支援交付金やリフォーム時の加算金の制度があり、諸費用の負担軽減になっている。片付けに対する支援に関しては、他市町村の動向も見ながら慎重に検討していく。

空き家の使い道提示

問 視察に行った徳島県神山町では、空き家を売り出す段階で、店舗など利活用のアイデアを提示していた。当町でも、改装するイメージを空き家バンクに載せることはできないか。物件を選んだだけのような提案ができるのではないか。

〔建設課長〕 居住可能な空き家は、立地や物件の間取りによっては店舗やオフィスなどさまざまな活用の可能性がある。アイデアやイメージの提示に関しては、空き家ネットワーク協議会に紹介し、取り組みが可能か、費用は発生するか、仲介手数料で賄えるかなどさまざまな話を伺いたい。

帯状疱疹ワクチン接種に助成を

増加する帯状疱疹

問 コロナ禍で、帯状疱疹を発症する高齢者が増加している。町民の健康を守り、健康寿命延伸の観点からもワクチン接種の助成を。

〔町長〕 県外での先行事例や国の議論を注視して判断する。現状では町として支援する環境にはない。

周知が必要

問 疾患の周知をどう行うか。

〔健康福祉課長〕 帯状疱疹に限らず感染症予防は免疫力を上げることが重要。今後、機会を捉え町民の健康づくりを図っていく。



白鷹町空き家情報ホームページ



帯状疱疹に関するホームページ（国立感染症研究所）